

「故郷を取り戻してくれた愛媛FC」

私は半ば故郷を捨てた男でした。浪人、大学を経て東京で就職しましたが、忙しさにかまけて慶弔事でもなければ田舎に帰らない状況がほぼ20年近く続いていました。

サッカーは中高と部活で親しみ、ダイヤモンドサッカーとワールドカップ放送にかじりつくほど好んでいましたので、愛媛FCの存在はある程度認識しており、天皇杯の関東での試合には出かけていくようにしていました。

そんななか、2005年秋、愛媛FCが昇格に向けてとても苦勞しているというニュースに触れ、何かに吸い寄せられるように新幹線に乗って都田村（廣澤虎造の浪曲が好きな縁もあったかもしれませんが）に出かけていきました。そこで私の奥底にあったスイッチが入ったのだと思います。自分は今まで何をしていたのだろう、なにか愛媛のために行動しなければ、との思いに駆られ、それ以降、ままたごのようなことばかりではありますが、愛

媛FCをサポートする活動に勤しむようになり

ました。

いつも思うのは、よくこの愛媛FCを創り、

育て、Jリーグにまで引き上げてくれた、と

いう様々な関係者の方々、サポーターの方々

などへの感謝の念です。Jリーグに参加した

くても参加できない地域、それもサッカー王

国と言われる地域が多数ある中、南宇和高校

の輝かしい歴史があったとは言え、野球王国

のこの地方に置いて、Jリーグクラブが存在

していることは奇跡だと思います。先達の

方々の筆舌に尽くしがたいご苦勞に想いを馳

せながら、遅れてきた分、少しでもサポート

しなければという思いで約6年間、過ごして

きました。

そのおかげで、頻繁に愛媛に戻るようにな

り、それまでほとんど無かった愛媛の人たち

との大切な繋がりがたくさんできました。こ

の歳で言うのは少し憚られますが、愛媛FCの

おかげで得た財産だと思います。愛媛FCは私

に故郷を取り戻してくれました。

さらに強く思うのは、このJクラブを絶対に

無くしてはいけない、そのリスクは出来る

限り排除されなければいけない、ということ

です。間もなくJFLとの入れ替えが始まると、

順位次第では降格があり得て、一度降格する

と再昇格することは並大抵ではないと思いま

す。そのリスクに対し、私達にできること、

それは一人でも多くの方にスタジアムに足を

運んで貰うように働きかけることだと思いま

す。そのために自分にできることを考え、思

い悩む毎日です。

一方、来年から始まるプレーオフはJ2リー

グ昇格以来、最大の希望です。6位に入れば

昇格の可能性があり、バルバリッチ監督なら

必ずやってくれるものと思います。去年でも

あと2勝で6位のラインだったわけです。イ

ングランドでは昨年、2部リーグでぎりぎり

6位だったみかん色の小さなクラブがプレー

オフで見事昇格、プレミアリーグでもリバプ

一ルなど強豪を破る快進撃で夢を見せてくれました。 「坂の上のJ1」に昇格すれば、いろいろな面で、確実に愛媛は格段に元気になります。それは過去の色々な事例からも明らかでしょう。

ただ、報道によると、今のスタジアムでJ1に挑む権利は与えられない可能性が高いとされています。6位に入ってもプレーオフに出場できないのです。こんな地域活性化のチャンス逃すとしたらそれはとんでもなく勿体ない、残念なことだと思います。愛媛FCを愛する私達は、今こそ、Jリーグクラブのある意義・効用を広く訴え、各方面の方々のご理解をいただけるように出来る限りのことをしなければ、と焦る毎日です。

東京都在住 46歳男性 応援歴6年